

「特集」担当者からひとこと

生源寺 眞一

日本農学アカデミー 副会長

これまで会報の「論壇」は原則として会員からの寄稿によって編まれてきましたが、第14号の今回は新機軸として「農学教育について」をテーマとする特集を組み、会員以外の先生方にもおおいに蘊蓄を傾けていただく方針で臨みました。農学教育について語っていただくとすれば、まずは農学系の大学教員にお願いすることがよいのではないかとの判断に立って、全国農学系学部長会議の役員会のメンバーを中心に、教員の皆さんに寄稿をご依頼申し上げた次第であります。いわば教育を行う側にある教員の切り口でもって、農学教育について論じていただいたわけです。

これに加えて今回は、ふたりに方に現役の大学教員とは異なる観点からの寄稿をお願いいたしました。おひとり、大学教員としてのご経歴とともに、農業大学の校長も務められた林浩昭さんです。農学教育と農業教育の双方に携わったご経験をもとに、ご執筆いただきました。もうおひとり、澤口敬太さんで、鳥取県農林総合研究所に研究員として勤務されています。今回は、最近まで学生であった立場から農学教育について論じていただきました。澤口さんは2年前の第19回ヤンマー学生懸賞論文コンクールで大賞の栄誉に輝かれました。受賞当時の澤口さんは九州大学の大学院生でした。

まことに恐縮ながら、ボランティアでもってご執筆いただく方式は、会員以外の方にご寄稿いただいた今回も踏襲させていただきました。ご多忙の中をご執筆いただいた皆様に心からお礼を申し上げる次第であります。

農学教育は奥の深いテーマです。また、その広がりから言って、今回お寄せいただいた論考だけではカバーできない領域も少なからず残されているように思います。その意味では、今回は農学教育をテーマとする特集の第一弾である

とご理解いただきたいと存じます。遠くない将来に、第二弾・第三弾の特集が  
組まれることになるのではないかと感じております。会員諸賢の活発なご議論  
をお願いできればと思います。